

関係各位

2024年7月19日

株式会社パテント・リザルト

【窯業】他社牽制力ランキング 2023

トップ3はAGC、TOTO、LIXIL

弊社はこのほど「窯業業界」の特許を対象に、2023年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「窯業業界 他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023年に最も引用された企業は、1位 AGC、2位 TOTO、3位 LIXILとなりました。

【窯業業界 他社牽制力ランキング 2023 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	AGC	932
2位	TOTO	611
3位	LIXIL	407
4位	日本特殊陶業	380
5位	日本ガイシ	349
6位	CORNING (米)	252
7位	日本電気硝子	233
8位	日本板硝子	219
9位	太平洋セメント	176
10位	住友大阪セメント	157

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023年12月までに公開された全特許のうち、2023年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **A G C**の最も引用された特許は「空調機器などの熱サイクルシステムに使用する熱サイクル用作動媒体」に関する技術で、ダイキン工業の計 17 件の審査過程で引用されています。このほかには「赤外光を高透過する赤外光透過フィルタ用の光学部材」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、デクセリアルズなどの計 5 件の拒絶理由として引用されています。

2023 年に、A G C の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はダイキン工業 (71 件)、次いで日本電気硝子 (54 件) となっています。

2位 **T O T O**の最も引用された特許は「プラズマにより接着剤が受けるダメージを低減できる静電チャック」に関する技術で、APPLIED MATERIALS(米)など計 4 件の審査過程で引用されています。このほか「水洗大便器用の排水ソケット」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、L I X I L の計 3 件の拒絶理由として引用されています。

2023 年に、T O T O の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は L I X I L (170 件)、次いでパナソニック (29 件) です。

3位 **L I X I L**の最も引用された特許は「サイドパネル及び屋根構造体ユニット」に関する技術で、三協立山の「簡易建物」関連特許など計 5 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023 年に、L I X I L の特許により影響を受けた件数が最も多い企業は T O T O (107 件)、次いで三協立山 (41 件) となっています。

4位 **日本特殊陶業**は「電源用または接地用の配線基板」、5位 **日本ガイシ**は「弾性波デバイス用の複合基板」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【窯業業界 他社牽制力ランキング 2023 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp